

クリーン作戦実施

7月7日に常陸大宮市一斉クリーン作戦を実施しました。

ごみのない清潔で住みよいまちづくりを目指して、各地区の環境保全推進委員長を中心に地域住民や市内中学校、県立小瀬高等学校、常陸大宮市ライオンズクラブ、常陸大宮市建設業協会、常陸大宮市内郵便局等、約11,000人が一斉に国道・県道・市道及び河川の清掃活動を繰り広げました。

参加者は、空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻、紙くずなどのごみを回収しました。

回収したごみは、可燃ごみ3,000kg、不燃ごみ1,920kg、その他粗大ごみを回収しました。

参加された皆さん、暑いなかご協力ありがとうございました。



お宝発見事業スタート！

7月13日、「常陸大宮市のお宝発見事業」の1回目を実施しました。これは、「郷育立市^{きょういくりつし}」の一環として、市の誇れるもの、かけがえのないものを学び、体験することにより、故郷を愛し、慈しむ心を醸成することを目的に実施するもので、今回は市内の小学校4～6年生34人が参加しました。

御前山ダムを見学した子どもたちは、急な階段に苦労しながらも、ダムの大きさやダム本体の底を通る監査廊に興味津々の様子でした。次に見学した御前山ビオトープでは、自然の大切さや多様性を学んだ後、実際に生き物観察を行いました。子どもたちからは、「次回も楽しみにしています」との声が多く寄せられました。



消防本部接遇マナー講習会実施



7月10日、消防本部で、「消防職員であると同時に社会人としてのマナーをしっかり身につける」ことを目的として、全消防職員を対象に接遇マナー講習会を実施しました。

星野幸子先生を講師に迎え、接遇の基礎である良好な人間関係の築き方について「自己紹介」をするというグループワークから学び、正しい言葉づかいの再確認や、119番の緊急通報時の電話応対をロールプレイして検証しました。

参加した職員からは、「実例を交えての説明やロールプレイなど大変参考になり、今後の道しるべとなった」や「言語表現と非言語表現を駆使し、相手に伝えていく大切さを知った」、「わかりやすく非常に勉強になった」など、感想が寄せられ、素晴らしい講習会となりました。

地域医療を考える研修会開催

7月20日、緒川総合センターで「地域医療を考える研修会」が開催されました。

これは、地域住民をはじめ、行政や保健福祉介護・医療関係者が地域医療の知識を得るとともに、市及び周辺地域医療の将来について考えることを目的として開かれたものです。

研修会では、講演や総合討論が行われ、一般の方でもわかりやすいように、身近な内容が取り上げられ、訪れた方は熱心に耳を傾けていました。



▲約400人が来場し、ほぼ満席に